

1 本時の位置（全 5 時間扱い中の第 4 校時）

前時：I want to go～ という表現になれる活動をした。

次時：自分が行きたい場所を紹介する活動をする。

2 本時の主眼

Can の表現を使い仲間集めゲームをする場面で、can の表現を聞いたり、話したりする活動を通して、Can you～ や I can を使った表現に慣れ親しむことができる。

3 指導上の留意点

ジェスチャーや絵を多く使い、英語が苦手な子でも活動を理解できるようにする。

4 本時の展開

段階	学習活動	予想される児童の反応	時間	指導・援助と評価
導 入	1. 挨拶をして本の読み聞かせを聴く。	・面白い！（体を動かしながら） ・ can という表現がたくさん出てくるな	5	・ Good morning. Everyone. Please listen! ○本時の表現を意識できるように can が多く出てくる本を読み聞かせる。 ○英語の表現に親しむことができるように、実際に体を動かしてみる。
展 開	Today's Goal: can を使った表現に親しもう。			○安心して歌を歌える雰囲気を作るために教師が歌いながら教室を回るようにする。
	Today's Point: ・ can の音や使い方に注意して聴こう ・ まねして話してみよう			○前時までのつながりを意識できるように今まで出てきた場所をスリーヒントクイズにする。
開	2. We Can にある can の歌を 2 回ずつ歌う。	・ 鳥って歌えるの？ ・ I can fly～♪	5	Let's sing!
	3. 場所についてのスリーヒントクイズをする。	・ I can see many animals だから動物園じゃない？ ・ ミッキーに会えるからディズニーかな～	1 0	Let's play three hint quiz!
終 末	4. タイラー先生ができることクイズをする。	・ バスケうまそう！ ・ タイラー先生は野球が得意なんだ～初めて知った。 ・ baseball ができる人を探せばいいのか	7 1 3	Let's play Tyler 先生's quiz! ○視覚的にわかりやすくするために WS とスライドを用意する。
	5. 仲間探しゲームをする。	・ Can you～で質問すればいいのか ・ Can you play baseball? ・ Yes, I can. イエーイ！ ・ ペアできたー！ ・ もう 1 回やりたい！ ・ 仲間探しゲームをして、いろいろな人とたくさん英語で話すことができた。	5	Let's play make a pair game! ○子どもがルールを理解することができるように、最初に教師がモデルを示す場を設ける。 ○事前にカードを配布し、発音の練習をする時間を設ける。
	6. 本時の振り返りをする。			評価: can をつかった受け答えに慣れ親しむ 授業中の様子から